

広報 KASHIWAZAKI 2010



かしわザキ

No.1024

75

特集

あの日、
あの時

写真でたどる
柏崎の70年



市制施行 昭和15年7月1日

昭和15年4月、鯨波村と合併し人口31,940人(柏崎日報)。7月1日、全国で162番目に市制施行。柏崎神社で原吉郎市長臨時代理が奉告祭を行った。

昭和15年7月1日
全国で162番目、県内で5番目の市として
「柏崎市」は誕生しました



市制施行祝賀の行列 昭和15年11月23日

あの日、あの時

写真でたどる柏崎の70年

柏崎市は、昭和15年7月1日に全国で162番目となる市制を施行しました。以後、70年の間、先人の苦労や努力もあり、柏崎市は発展の歴史を歩んできました。

市制施行以来、戦争や災害などもありましたが、多くの産業が育ち、道路や公共施設なども整備され、柏崎の街並みは姿を変えてきました。市民の暮らし、現代的なまちへと発展してきた様子など、これまでの柏崎市の歩んできた足跡を写真で振り返ります。懐かしい「あの日、あの時」を、思い起こしてみてください。

1940(昭和15年)

1941(昭和16年)

1942(昭和17年)

1943(昭和18年)

1944(昭和19年)

1945(昭和20年)

1946(昭和21年)

1947(昭和22年)

1948(昭和23年)

1949(昭和24年)

1950(昭和25年)

1951(昭和26年)

1952(昭和27年)

1953(昭和28年)

1954(昭和29年)



市制施行10周年ぎおん祭り 昭和25年7月25日
市制施行10周年を記念し、懸賞募集で決まった「柏崎市章」が入った山車。

賑わい

青年学校なぎなた訓練

昭和18年

戦時下、各学校でなぎなた・竹やり・救急の訓練などが行われた。(北条中央小学校)

子

学童疎開

昭和19年9月

米軍の空襲が日増しに激しくなり、政府は疎開を奨励した。学童は肉親から離れ、苦難な生活を送った。(北条の西方寺)

ど



えんま市 昭和10年代

後方の垂れ幕には「三階節柏崎情緒人形」の文字。軍人もいれば日傘の婦人も。昔も今も変わらぬ賑わい。

保育所の餅つき

昭和20年代

年の瀬の餅つき大会。戦後も少し落ち着いたころのものと思われる。

も



日本石油株式会社全景 昭和20年代

柏崎駅構内に隣接して設置された製油所。現在この土地では、駅前公園と一体に土地区画整理事業が行われている。

街並み

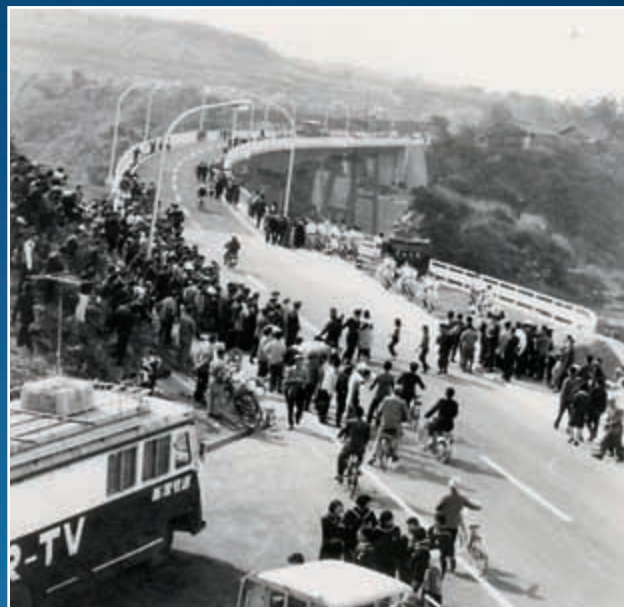


旧本町三丁目

昭和25年

広小路三叉路。左角が魚市場事務所、中央後方に公会堂の塔が見える。

昭和の大合併を経て市域は拡大。道路などの 社会資本も整備され、まちの様子も大きく変わりました



米山大橋竣工式 昭和41年11月6日
昭和36年から総工費約4億円をかけての大事業で
米山大橋が完成。橋高54mは当時日本一。



柳橋踏切 昭和31～32年
あかずの踏切といわれたが、昭和
51年には地下道が完成した。

姿を変えるまち



**北陸自動車道
柏崎インターチェンジ**
北陸自動車道の市内部分は昭和53年
に着工、56年新潟～柏崎間が開通。



柏崎駅前 昭和45年
駅舎も駅前ビルも
新しくなったばかり。
広場はまだ未舗装・未
整備の状態。



柏崎駅 昭和41年
この建物は、大正14年
に建築されたもの。翌
年、現在の駅舎が完成
し取り壊された。

第二室戸台風(36年)、38豪雪(38年)、新潟地震(39年)、6・26水害(53年)など、幾多の自然災害から復興し、日本の高度経済成長を背景に発展をとげてきました。

また、陸上競技場・野球場・プール・武道館などのスポーツ施設が集中する体育コンビナートが形成され、スポーツ都市柏崎のあゆみも始まりました。

- | | |
|--------------|---------------------------------------|
| 1955 (昭和30年) | 市立図書館で巡回図書館始まる(7月) |
| 1956 (昭和31年) | ぎおん柏崎まつり、県内初の海上スターマイン打ち上げ(7月) |
| 1957 (昭和32年) | 第1回市美術展を開催(11月) |
| 1958 (昭和33年) | 新潟短期大学附属高校が開校(4月) |
| 1959 (昭和34年) | 吉浦栄一氏四代市長に就任(5月) |
| 1960 (昭和35年) | 豪雨で鯖石川・鵜川がはんらん(7月) |
| 1961 (昭和36年) | 台風18号(第二室戸台風)襲来(9月) |
| 1962 (昭和37年) | 柏崎神社前交差点に市内初の点灯式自動信号機設置(12月) |
| 1963 (昭和38年) | 小林治助氏五代市長に就任(5月) |
| 1964 (昭和39年) | 諏訪町と新花町に消雪道路完成(12月) |
| 1965 (昭和40年) | 第19回国体「新潟国体」開催。柏崎市は軟式野球とハンドボール会場に(6月) |
| 1966 (昭和41年) | 新潟地震(M7.5)が発生(6月) |
| 1967 (昭和42年) | 柏崎市清掃センターごみ焼却場が橋場に開設(12月) |
| 1968 (昭和43年) | 柏崎ユースホステル開所(4月) |
| 1969 (昭和44年) | 小本町と「めおと都市」締結(7月) |
| | 寒波で零下13度を記録(2月) |
| | 荒浜地区に原子力発電所の建設が決定(9月) |



新潟国体旗リレー 昭和39年5月18日
柿崎町から引き継いだ国体旗をリレー。
八坂神社までは大洲婦人会がリレーした。
大洲から



市民運動会 昭和56年10月10日

市民運動会は、昭和15年市制施行以来の歴史がある。昭和52年から現在の4年に1度の開催となる。この年は、33地区3,000人が参加した。



鶴川スキー場 昭和50年1月26日

昭和44年の開設以来、市民の身近なスキー場として利用されていた。

スポーツ都市の芽生え



柏高水球チーム 昭和40年

昭和39年新潟国体夏季大会の水球は、柏崎会場で行われる予定だったが、新潟地震のため中止。このため全国の強豪6チームを招待して全国高校選抜大会を開き、柏崎高校は見事優勝した。



1970 (昭和45年)
1971 (昭和46年)
1972 (昭和47年)
1973 (昭和48年)
1974 (昭和49年)
1975 (昭和50年)
1976 (昭和51年)
1977 (昭和52年)
1978 (昭和53年)
1979 (昭和54年)
1980 (昭和55年)
1981 (昭和56年)
1982 (昭和57年)
1983 (昭和58年)
1984 (昭和59年)

市の木松・花やまゆりが決まる(7月)
国際貿易港として柏崎港開港(7月)
駅前商店街にアーケードが完成(6月)
海水浴客が初めて100万人突破(8月)
赤坂山浄水場が完成(10月)
公共下水道建設工事に着手(10月)
日本海側の国民休養地オープン(7月)
38豪雪以来13年ぶりの豪雪(1月)
市民の憩いの場、赤坂山公園が開園(4月)
豪雪 市街地で降雪6・7mを記録(1月)
柏崎刈羽原子力発電所建設安全協定を締結。12月に1号機建設着手(8月)
今井哲夫氏六代市長に就任(4月)
シルバー人材センター設立(10月)
38豪雪に迫る豪雪で、雪害対策本部を設置(1月)
鏡町にガス水道局庁舎が完成(9月)
全市共通商品券を発行(12月)
健康管理センターが完成(10月)
集中豪雨で600戸以上が浸水(8月)



水害(常盤台) 昭和53年6月26日

昭和53年の6.26水害は、市内の浸水家屋2,500戸以上。被害総額10億円を超した。ドラム缶のいかなが見られる。

高柳町・西山町との合併で新・柏崎市が誕生



豪華客船「飛鳥」 平成9年8月

柏崎港から830人を乗せてウラジオストクまで3泊4日のクルーズが行われた。



合併記念式典 平成17年5月1日

3市町合併で新・柏崎市が誕生。市民会館大ホールに500人が出席し記念式典が行われた。

東京電力柏崎刈羽原子力発電所(右上)

平成9年7月柏崎刈羽原発全号機完成。総出力821万2千kwは世界一。

のど自慢公開生放送(右下) 平成10年10月4日

市民会館30周年を記念して30年ぶりにNHKのど自慢が行われ、20組の出場者が自慢ののどを披露。

流出重油回収作業(左下) 平成9年1月

座礁したロシアのタンカー「ナホトカ号」から流出した重油が柏崎にも漂着。多くのボランティアにより回収作業が行われた。



2009 (平成21年)	2008 (平成20年)	2007 (平成19年)	2006 (平成18年)	2005 (平成17年)	2004 (平成16年)	2003 (平成15年)	2002 (平成14年)	2001 (平成13年)	2000 (平成12年)	1999 (平成11年)	1998 (平成10年)	1997 (平成9年)	1996 (平成8年)	1995 (平成7年)	1994 (平成6年)	1993 (平成5年)	1992 (平成4年)	1991 (平成3年)	1990 (平成2年)	1989 (平成元年)	1988 (昭和63年)	1987 (昭和62年)	1986 (昭和61年)	1985 (昭和60年)
--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	--------------	--------------	--------------	--------------

柏崎刈羽原子力発電所1号機が営業運転開始(9月)

市が地方交付税の不交付団体に(7月)

飯塚正氏七代市長に就任(4月)

赤岩ダムが竣工(8月)

松雲山荘の紅葉ライトアップ開始(10月)

国際ユースホステル世界大会開催(6月)

総合体育館オープン(5月)

柏崎市出身の平山征夫県知事が誕生(10月)

西川正純氏八代市長に就任(12月)

柏崎アクアパークオープン(7月)

真夏日が続く渇水対策本部設置(8月)

新潟工科大学開学(4月)

柏崎コミュニティ放送が開局(6月)

新図書館「ソフィアセンター」開館(7月)

柏崎刈羽原子力発電所全号機完成(7月)

市のシンボルマーク決定(8月)

市民会館開館30周年記念で「NHKのど自慢」公開生放送が行われる(10月)

健康・福祉の拠点施設元気館完成(10月)

2000年問題、大きな混乱なし(1月)

市民プラザオープン(6月)

北朝鮮拉致の蓮池薫さん祐木子さんが24年ぶりに帰郷(10月)

柏崎高校、選抜高校野球に出場(3月)

会田洋氏九代市長に就任(12月)

3市町合併で新・柏崎市誕生(5月)

大雪で豪雪対策本部を設置(1月)

ワークサポート柏崎開所(4月)

休日・夜間急患センタースタート(4月)

柏崎・夢の森公園オープン(6月)

ものづくり活性化センター開所(7月)

トキめき新潟国体開催・市内高校生が大活躍(9月)



柏崎高校、選抜高校野球に出場 平成15年3月
21世紀枠で春の選抜に出場した柏高野球部。スタンドは大勢の応援団で埋め尽くされた。

大雨で3,657世帯に避難勧告 平成17年6月28日
前夜からの大雨で鵜川流域を中心に浸水被害が相次ぐ。100人以上をボートで救出する。



佐藤池野球場・総合体育館・アクアパークなどの体育施設の建設、赤岩ダム・元気館・市民プラザの建設など、大型プロジェクトが目白押し時代の。一方で、豪雨・豪雪・2つの大地震に見舞われ、まちの復興・再生が大きな課題となりました。

昨年は、トキめき新潟国体の成功、柏崎フロンティアパークへの東芝進出など、着実に復興を上げている柏崎の姿があります。復興から新たな飛躍へ―さらなる未来に向かって、柏崎市はあゆみ続けていきます。



中越沖地震 平成19年7月16日
震度6強・マグニチュード6.8の大地震が突然柏崎市を襲う。



自衛隊さん ありがとう 平成19年8月27日
震災直後から支援活動が続けてくれた自衛隊員に、市民プラザ前にて感謝のセレモニーを行った。



トキめき新潟国体 平成21年9月
45年ぶりに新潟で開催された国体。水球・卓球・ハンドボールの会場となった柏崎市。地元選手の活躍と市民の声援により大成功で幕を閉じた。

中越沖地震からの復興、そして新たな飛躍へ
さらなる未来に向かってあゆみ続ける柏崎市

写真展 柏崎市70年のあゆみ

7月17日(土)まで開催中

会場：ソフィアセンター（柏崎市立図書館）

7月17日(土)まで、ソフィアセンターで「柏崎市70年のあゆみ」写真展を開催しています。

懐かしい「あの日、あの時」を思い起こしに、ぜひ、ソフィアセンターにお出掛けください。